**５　情報活用能力育成に向けた年間目標**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **概要** | **学習内容** | **低学年** | **中学年** | **高学年** |
| **Ａ 活動スキル** | **コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能** | A1:記録と編集 A2:PCの操作 A3:ウェブ検索A4:図書利用A5:インタビューA6:アンケートA7:メモA8:口頭発表 | **情報を集めたり、発信したりすることに関わる基本的な活動をマナーを守って行うことができる。**A1:写真や動画の撮影、⾳声の記録ができるA2:eライブラリ（学習コンテンツ）を活用できるA4:図書館内にある本を⾒付けることができるA5:質問を⽤意することができるA7:⼤事だと思ったところを短い⾔葉で書くことができるA8:物を⾒せながら⼤きな声で分かりやすく話す | **情報を集めたり、発信したりする際、コンピュータを含む情報手段を目的に応じて活用することができる。**A2:ローマ字で⽂字⼊⼒ができるA3:キーワードで検索できるA4:⽬次や索引を活⽤して情報を⾒つけられるA6:何を聞くか質問を考えられるA7:箇条書き・単語でポイントをまとめるA8:資料を効果的に⽰しながら⾝振りや声の抑揚など伝え⽅を⼯夫する | **情報を集めたり、発信したりする際、情報手段の特性を意識して活用することができる。**A1:写真や映像、⾳声の加⼯・編集ができるA2:ファイル・フォルダの管理ができるA3:サイトの構造を理解して情報を⾒付けられるA5:下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶことができるA6:⽬的にあった質問の形式や内容を考えられる |
| **Ｂ 探求スキル** | **収集した情報を精査し、整理・分析し、まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力** | B1:取捨選択 B2:読み取り B3:創造 B4:伝達内容の構成 B5:表現の工夫 B6:受け手の意識B7:学習計画 B8:評価と改善 | **情報を編集（整理・分析や表現）する際、与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組むことができる。** B1:課題解決に役⽴つ情報を選ぶことができるB2:一つの資料から視点を持って情報を読み取るB4:話の順番を組み⽴てることができるB6:相⼿を意識して伝え⽅を⼯夫するB7:決められた計画に⾒通しを持つことができるB8:学びを振り返ることができる | **情報を編集（整理・分析や表現）する際、学びの見通しを持って視点や観点を理解し、試行錯誤することができる。**B1:選んだ根拠を説明することができるB3:情報から分かったことをまとめられるB5:メディアに応じた⼯夫ができるB7:⾃分で計画を⽴てることができるB8:振り返りをもとに次にやってみたいことを考えられる | **情報の収集・編集（整理・分析や表 現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。**B2:複数情報から共通・相違点を⾒つけられるB3:情報を組み合わせて新たな意味を⾒いだすB4:相⼿を説得するために論理を組み⽴てられるB5:伝えたいことに応じて表現を⼯夫できるB6:相⼿の反応を⾒て伝え⽅や内容を⼯夫する |
| **Ｃ プログラミング** | **問題解決の手順を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力** | C1:物事の分解C2:情報の分類 C3:情報の関連付けC4:問題解決の手順C5:試行錯誤 C6:データの傾向C7:情報技術の将来 | **問題の解決には手順があることを理解する。**C1:物事を部品に分けて捉えることができるC2:情報を決められた観点に分類・整理できるC3:情報と情報の間にある関係に気付くC5:うまくいかない時に繰り返し取り組もうとする | **問題解決や表現活動の際、コンピュータに与える論理的な手続きやデータを さまざまに工夫できることを体験的に理解する。**C1:部品を組み合わせて物事を表現できるC4:問題解決の流れを⼿順に表すことができるC5:試作やシミュレーションを通して問題解決の⽅向性や改善策を⾒い だすC6:⼤まかなデータの傾向を⾒出すことができるC7:新しい情報技術がどんなものか知る | **コンピュータを使った問題解決や表現 活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連付けて考えることができる。**C2:観点を考えて情報を分類できるC3:情報と情報の関係を図やプログラムで表現できるC4:問題解決の⼿続きを順序・繰り返し・分岐などを組み合わせて表現できるC6:データの変化を捉えて説明できるC7:新しい情報技術にどう関わるか説明できる |
| **Ｄ 情報モラル** | **情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度** | D1:コミュニケーションD2:法と権利D3:健康と安全D4:ルール、マナーD5:セキュリティD6:個人情報 D7:情報社会の将来 | **自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。**D1:相⼿によって受け⽌め⽅が違うことを理解するD2:⼈の作った作品や情報を⼤切にするD3:情報機器を使ってよい場所や時間を守るD4:ルールやマナーが必要であることを理解するD5:パスワードを安全に管理するD6:⾃他の情報をむやみに他⼈にもらさない | **情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。**D1:発信する情報に責任を持つD2:著作権や肖像権に留意して情報を扱うD3:情報機器を使う場所や時間を⾃分で管理できるD4:ルールやマナーを相⼿と⼀緒に作るD5:なりすましやウィルスなどの危険を理解するD6:⾃他の情報が伝わる範囲を考えて⾏動するD7:情報社会の特⾊を理解する | **情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。**D7:情報社会の中でどう⽣きていくか説明できる |